
第69回駒場祭
変わる世界、変わらない私
～20年後の未来を描く～

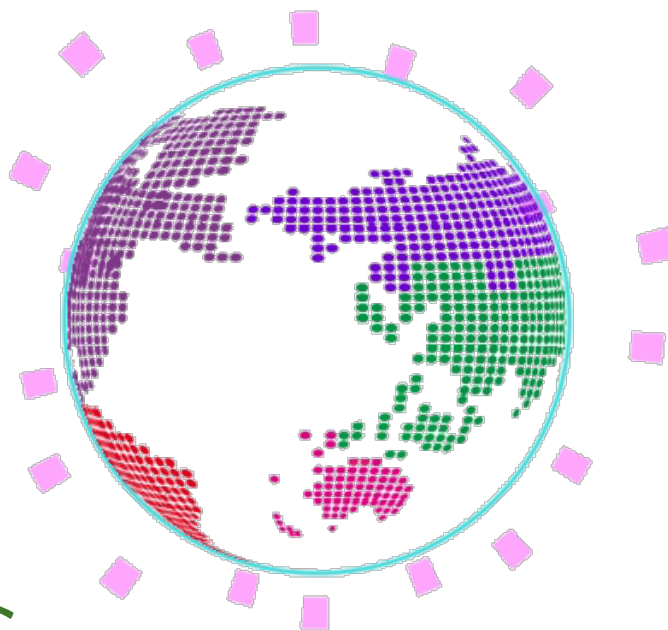
FUTURE VISION 2038



はじめに

この度は当企画に足をお運びいただき、誠にありがとうございます。この企画は「20年後の未来の生活を描く」ことをテーマに、多くの人にとって身近な「家」を題材として、その未来像を展示を通じてお客様に実感していただく体験型の企画です。さらに自作のアプリにより、お客様ご自身にも「未来の生活がどうなるのか？」を考えていただく場を設けております。この企画をきっかけに未来に思いを馳せてみませんか？

UTaTané 代表 久保田祐貴
副代表 山下萌莉

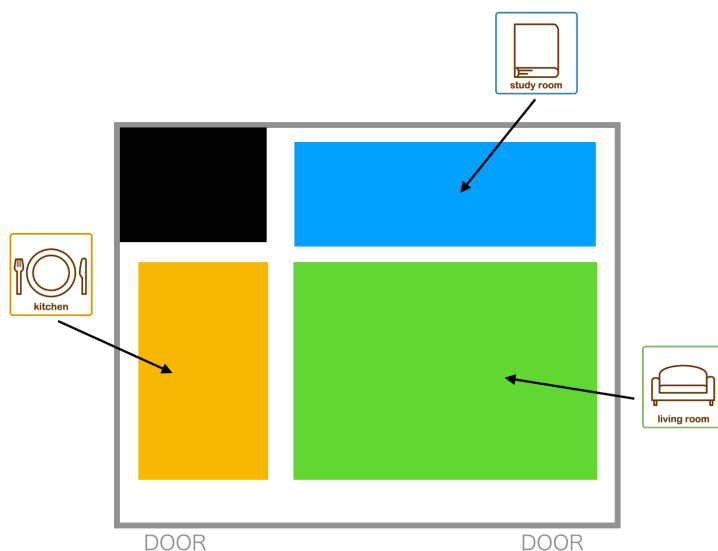


企画コンセプト

- I. 未来の生活が身近に感じられる、リアリティあふれる体験型企画
- II. 自由な発想を忘れない大学院生ならではの、先進的な技術の活用
- III. 統一したコンセプトが生み出す、アーティスティックな空間設計
- IV. 詳細な文献や研究の調査に基づく、実現性の高い未来の姿

会場案内図

5号館1階 515教室



企画ウェブサイトのご案内

当企画では，企画をより楽しんでいただくためにウェブサイトやSNSなどで広報・コンテンツを配信しています。今皆様が手に取っているパンフレットも，ウェブサイト上のPDFにてご覧いただけます。

また，来場者の皆様に未来の家の姿を考えていただくウェブアプリケーション（→ p8）も合わせて公開しておりますので，ぜひウェブサイトを活用して企画をより深く楽しんでください！



Web Site : <https://mayfes2018-utatane.com/>



THE WORLD CHANGES
AS YOU LOVE

変わる世界、変わらない私・人に寄り添うモノ



第4次産業革命 / Society 5.0の進行とともに，あらゆるものがネットワーク化された20年後の未来の生活。より快適なモノやサービスの開発が急速に進行し，人間らしさー創造への意欲，身体的個性や好みーがより自然な形で体现された「人にモノが寄り添う」社会を想定して展示全体をデザインしました。

「変わる世界、変わらない私」という企画名は，その「より人間らしく生きられる未来の実現を目指して」という思いを込めてつけられたものです。

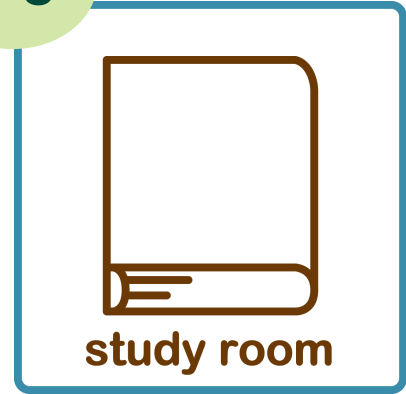
CONTENTS

P 6



1日3回、わくわくを。

P 8



ネットの情報の山を、
人の手に取り戻す。

P10



私たちの未来に、
タネをまく。



1日3回、わくわくを。



あなたが最後に楽しいと思えた食事は、いつですか？ 毎日しなくてはいけないものだからこそ、「いやいやながら」「栄養補給のために」だけではない、楽しみやわくわくが…欲しいですね。

Kitchen班では、20年後、「毎日の食事が『楽しいイベント』になっていて欲しい」という気持ちで、今回の展示を作りました。20年後の食卓に、是非「わくわく」してください。

1. 献立アキネ○ター

料理を作る主夫（婦）は大変です。「食材を余らせないように」「バランスがよくなるように」「昨日の夜とは違うものを」「手早く作らないと」…と、頭を悩ませながら献立を日々作っています。

そんな人たちにも、もっと食事を楽しんでもらいたい。私たちは今回、いくつかの質問に答えるだけで献立を自動で提案してくれるアプリを作りました。これを発展させれば、20年後には、もしかしたら自動で調理まで済ませてくれる道具もできちゃうかも…！？

献立提案AI

Q2. 調理時間はどのくらいが良いですか？

目標の献立

手短かにおいしい！

あまり時間ないけど...

ある程度はかけてもいい

そこそこ時間はある。

じっくり料理をしたい！

戻る

2. Decorative Dining

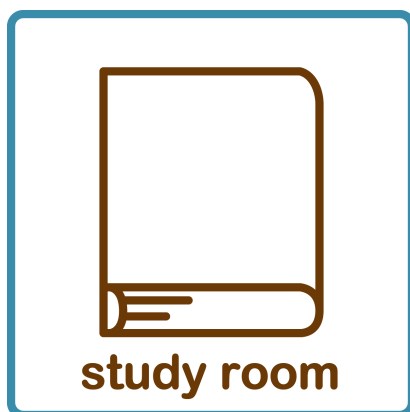
家に帰ってきて、昨日のあまりを温め、一人でもぐもぐ食べる…そんな食卓を、少し輝かせてくれるものがあれば、楽しいと思いませんか？

私たちは今回、食卓に置かれたものを自動で検知し、食べるものに合わせた音楽や照明をつけてくれる展示を作りました。ムードのあるライトアップも、楽しくなっちゃうような音楽も思いのままです。





ネットの情報の山を、人の手に取り戻す。

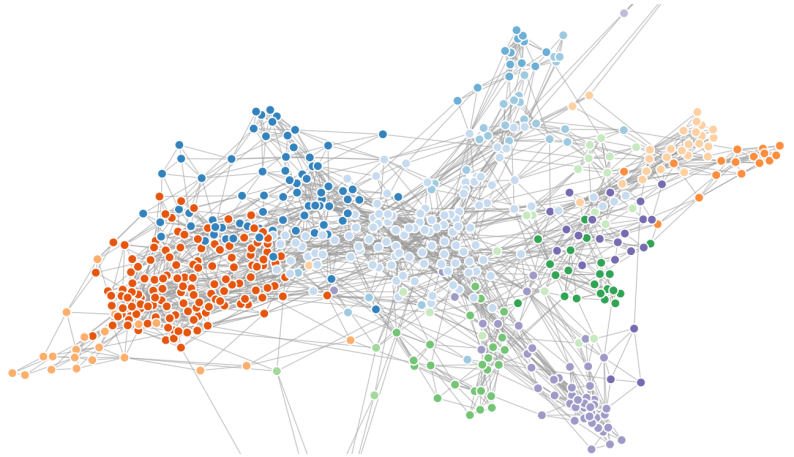


インターネット上に氾濫する情報の山。誰もが自由に情報を発信できる現代社会において、玉石混淆の情報を整理し、自分に必要な情報のみを適切に引き出す仕組みは欠かせない。紙の本からの移行が進み急激に市場規模を拡大させている電子書籍も、この要請から無縁ではない。

私達は今回、各文書間の情報のつながりを基に自身の所有する電子書籍を整理し、相互の関連性を視覚的に分かりやすく図示するシステムを構築した。ネット社会の複雑な情報収集に、少しでも見通しを与える一助となれば幸いである。

・ Indi-Vidual Network

持ち運びの便利さなどが評価され、近年普及が進む電子書籍。しかし、紙の本から電子書籍に移行しても、解消できない不便さもある。その一つが一覧性だ。紙の本は本棚に縦横無尽に並べることができるものの、電子書籍は一つの画面上にしか情報を表示できない。適切な検索ワードを設定できなければ、過去に読んだ本の中から、今の自身の関心に合わせて適切な本を選び出すことは難しい。



今後、電子書籍がさらに浸透していけば、一つの画面上で様々な情報を整理し、適切に引き出すことの重要性は高まっていくだろう。そして、それは電子書籍のみならず、情報量が増すばかりの情報化社会全体を見据えた時にも必要な機能であるといえる。

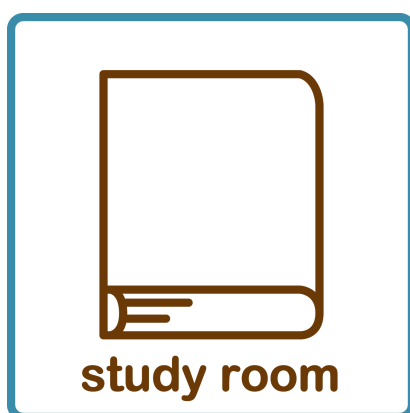
そこで私達は、多量のテキストデータを整理し、各資料間の情報のつながりを視覚的に分かりやすく図示する仕組みを考案した。手持ちの電子書籍の類似度を自動判定し、内容が近い物を近くに置いた、二次元的な自分だけの「本棚」を自動で生成してくれるシステムである。

今回はそのモデルケースとして、Wikipediaからランダムに抽出した約500個の記事を、テキストの関連度に基づきネットワーク化させてみた。記事の表題からは想像しがたい、意外な内容のつながりもお楽しみいただきたい。



Living Room

私たちの未来に、タネをまく。



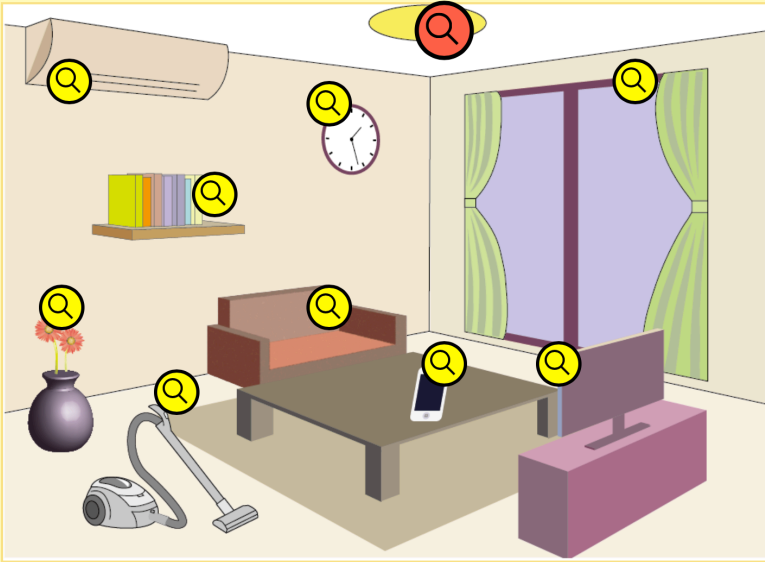
入り口付近に設けられたリビングルームを模した空間。皆様が靴を脱いで上がってきたこの場所には、未来を描くモノは展示されていません。

ここは皆様に「未来の家」のアイデアのタネを考えてもらうところです。「未来の家」がどうなっているか、私たちと一緒に考えてみませんか。

1. sharé futuré ~ みんなで作る「未来の家」 ~



～みんなで考える未来のカタチ～



みんなの考える
未来の「照明」

テーブルや壁に、予定や天気を投影してくれる照明

◀❤1▶

あなたの考える
未来の「照明」

(例) ○○○するとxxxできる△△△

Send

- 1 気になるアイテムをクリック！
- 2 気に入った投稿にいいねしよう！
- 3 アイテムの未来予想を書こう！
- 4 Sendでアイデアをシェア！

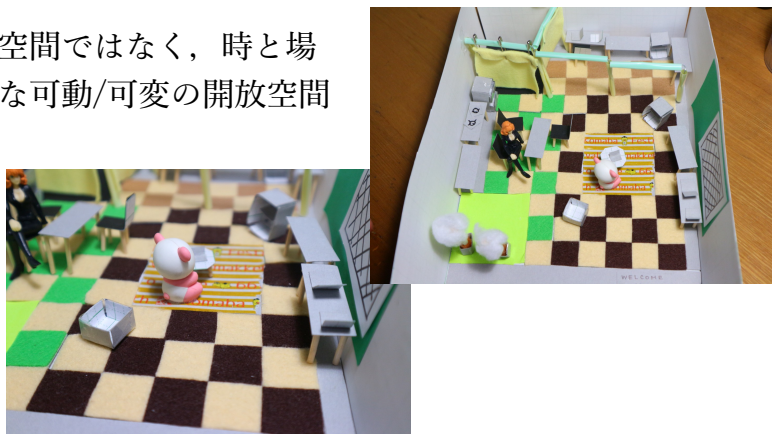
URL : <http://app.mayfes2018-utatane.com/>

皆さんの「未来の家」のアイデア投稿、お待ちしております！



2. FUTURE LIFE DESIGN

未来の家は、部屋で仕切られた閉鎖空間ではなく、時と場合に応じて、色々な目的に使用可能な可動/可変の開放空間になるのではないかな。床や壁の装飾に加え、カーテンを用いることで、その空間の可変性や展示空間としての一体性を表現し、未来の家での生活像を演出しています。



3. Future Idea Scrolls

より良いアイデアを出すためには、過去と今の生活や技術がどう変わったか、今の生活の中にどのような技術が使われているかを眺めるが必要になるでしょう。展示会場全体で、過去ー現在ー未来、それぞれの技術を、ゲーム形式やクイズ形式で、楽しく知ることができるようなコンテンツを用意しました。



協賛企業・研究室

ガクセイ協賛.com

音楽素材提供：MUSMUS

<http://musmus.main.jp/>

sponsored by

